

平成 27 年 3 月 10 日  
教育振興部教育指導課

## 新たな三学期制について（調整中）

練馬区では、「みどりの風吹くまちビジョン～新しい成熟都市・練馬をめざして～（案）」を策定し、計画的に取り組む基軸のプロジェクトとして、18 の戦略計画を公表した。その計画の一つに「子どもたち一人ひとりに質の高い教育を」として、「児童生徒一人ひとりに応じた、きめ細かい指導や支援により、夢や目標をもち、困難を乗り越える力を備えた子どもを育成」する目標を設定した。来年度から 5 か年で取り組む施策の「学力の定着・向上」を進めていくにあたり、二学期制の成果を大切にしながら新たな三学期制の実施や、子供たちの伸びようとする力を引き出す教員の育成により、学習内容の確実な定着につなげていく。

### 1 これまでの二学期制の成果の継承

三学期制においても「学びの連続性の確保」や「きめ細かな指導と評価の実施」、「子供と教師が向き合う時間的ゆとりの確保」といった二学期制の成果を継承し、児童生徒の学力と教員の指導力を向上させていく。

#### （1）学びの連続性の確保

- ・長期休業前の通知表等の配布や必要に応じた面談を実施することで学習した内容の成果と課題を明確にするとともに、学習意欲を持続させ、学力の向上を図る。
- ・長期休業中も含めた学力補充教室を活用し、個に応じた指導の充実を図る。

#### （2）きめ細かな指導と評価の実施

- ・学期ごとの評価・評定のまとめを年間 3 回行い、きめ細かな評価を実施する。
- ・長期休業中も含めた面談等の機会を充実させ、児童・生徒や保護者へ説明することを通して、学習した内容の成果と課題を明確にする。

#### （3）子供と教師が向き合う時間の確保

- ・始業式、終業式前後に授業を実施するなど授業と行事の在り方について見直しを図る。
  - ・年間 8 回、第二土曜日に授業を実施する。
  - ・開校記念日および都民の日は、校長判断により授業を行うなど、柔軟な対応を図る。
- ここでいう子供と教師が向き合う時間とは、授業や学校行事等を通して子供と教師が直接関わりをもったり、触れ合ったりすることができる時間のことである。

- 2 一年間の学びの段階を設定し、それぞれの段階で重視する学習面および生活面の内容を明確化する

「学びの段階」を、「学習方法や学習習慣」と「教師と児童生徒、児童生徒相互の人間関係」等の学習の支えとなるものについて、一学期を基礎、二学期を充実、三学期をまとめの段階と捉える。それぞれの段階を踏まえ、一年間を通して児童生徒の学びの連続性を確保していく。

#### 一年間の「学びの段階」のイメージ

学期「段階」	一学期「基礎」	二学期「充実」	三学期「まとめ」
学習面 【学習習慣・学習方法】	学年に応じた学習方法の習得、学習習慣や態度の定着	一学期までに身に付けた学習方法、学習習慣や態度を基にした落ち着いた学習の展開	一年間で身に付けた学習方法、学習習慣や態度等、学習面での成長の自覚、学習の総仕上げ
生活面 【人間関係づくり】	教師と児童生徒、児童生徒相互の人間関係づくり	一学期までに培ってきた人間関係を基にした安心感のある人間関係の中での生活	高め合う人間関係を築くとともに、一年間で培ってきた人間関係の良さや生活面での成長の自覚
	一学期の学習内容	二学期の学習内容	三学期の学習内容 年間の学習のまとめ
	各教科等における学習内容の確実な定着		

- 3 学びの段階を意識した教師の指導

学習指導要領に基づく指導や9年間を見通した指導を行う中、教師が三つの学期におけるそれぞれの学びの段階を意識した指導をすることで、児童生徒が各学期で身に付けるべき学習内容の定着を図ることができ、より一層の学力向上が期待できる。